

利根保健生協 2021年5月現勢

生協組合員 ……29,123人

出資金額 ……1,655,213,000円

平均出資金額 ……56,835円

理事29名 監事4名 総代212名 班長1,509名

*5月の新規加入組合員数は、57人でした。

利根の保健

発行人 大塚隆幸
発行部数 21,700

編集 「利根の保健」編集委員会
印刷 有限会社コトブキ印刷

利根保健生活協同組合
〒378-0053 沼田市東原新町1861番地1
☎0278(22)6060 FAX(22)6262

利根中央病院 沼田市沼須町 ☎(22)4321
片品診療所 片品村鎌田 ☎(58)3910
利根中央診療所 沼田市西原新町 ☎(24)1202
利根歯科診療所 沼田市高橋場町 ☎(24)9418
生協みなかみ歯科 みなかみ町後閑 ☎(25)3399
介護老人保健施設とね 沼田市東原新町 ☎(22)8855
サニーホームひまわり 沼田市高橋場町 ☎(22)3223



第45回総代会 全議案を採択

第45回通常総代会

「くらしの視点」に立った事業と運動を

第45回通常総代会が6月19日(土)、ホテルペラヴィータで開催されました。今年度もコロナ禍による影響で3密を考慮し、212人の総代の中から各支部代表1人の出席で行われました。

2020年度のまとめと2021年度方針・予算を含めて8議案のすべてが賛成多数で採択されました。

また、役員改選も行われ、第1回理事会にて大塚隆幸理事長、原澤裕専務理事、山田晃章常務理事をはじめ新役員体制が確認されました。

事業も運動も「コロナと対峙」

2020年は、コロナ対応初動となったクルーズ船へのDMAT派遣から始まり、4月には、感染により病院の3

週間休診を余儀なくされるなど厳しいスタートでした。地域からの励ましに支えられ、共に感染対策を強化して、未知のウイルスと対峙した1年でした。

病院では、断らない医療実践のため救急病床4床を開設し、年間2100件以上の救急搬入の受け入れや、里帰りも含む400件の分娩に対応しました。

利根中央診療所では、訪問診療や断らない訪問看護を掲げて在宅での看取りを叶え、利根歯科診療所ではメンテナンス強化や口腔機能への対応をすすめました。

老健とねでは、医療依存度の高い入所者の受け入れや看取り対応、短時間リハビリの拡大も行いました。

平和・社会保障活動では、国民平和大行進はできませんでしたが、スタンディングで平和をアピールし、「いのち・くらしを守る相談会」やフードドライブ活動なども開催できました。

まちづくり活動では、「買い物支援」をブロックで企画したり、支部主体の杜協との懇談会や協同組合間との連携でJAとの「親子農業体験」を準備するなど多団体との連携がひろがりました。

2021年度方針

2021年度は、組合員の「くらしの視点」に立ち「事業と運動」をすすめる、地域の安心づくりに貢献することが中心課題となります。

方針については折り込みの別紙をご参照ください。

組合員活動

支部運営委員会やまちかど健康チェック、サークル活動、ブロックでのスマホ教室など感染対策をしながら行ってきました。

人材確保と育成の活動では、コロナ禍のため医療講演・懇談会は1回開催でしたが、オンライン面談などの工夫により初期研修医は4年連続フルマッチとなりました。

健康づくり活動では、「健康お楽しみ会」、保健講話や手洗い教室なども実施し、健康チャレンジへの参加やすこしおカルタの作成と活用をすすめました。

総代会表彰

総代会方針を積極的に実践し「事業と運動」への貢献度として活動を表彰しました。

支部活動表彰

- 支部ニュースを毎月発行、買い物支援実施・沼田東
- 未配布班訪問を実施・川田
- 健康お楽しみ会等の開催でつながりづくりをすすめた沼田西、月夜野東、水上、猿ヶ京、須川、利南、薄根
- 出資者割合が前年度を超過・沼田中
- 年度末に地域訪問を実施し、年間の出資金純増達成月夜野東、須川

班・サークル活動の表彰

- 川場湯原合同班(川場)、中野合同班(川場)、真庭政所合同班(月夜野東、つきよのいきいきサロン(月夜野東、入原合同班(昭和南)
- 「サークル活動」
- 健康卓球クラブ(沼田東)
- 健康卓球教室「ゆうゆう」(沼田東)
- 和楽会(月夜野西)

模範活動の表彰

- 買い物支援を実施・中央ブロック
- スマホ教室開催・南部ブロック
- 昭和村社会福祉協議会との懇談・昭和東支部・昭和南支部

役員交代



退任される理事・監事のみなさん【大塚新理事長を囲んで(写真中央)】
(左から)糸賀俊一、原田富夫、秋山達男、角田克之、杉木哲二、阿部圭助、石井進、金古清一(欠席:千明孝男) ※敬称略

退任あいさつ

退任される役員9人を代表して挨拶されました。



杉木 哲二 理事

前理事長あいさつ

9期18年間生協の理事として携わってきました。生協の活動と、ここ十数年は健康づくりに関わらせていただいたおかげで、80代になった今でもおきな病いや手術を受けることもなく過ごしてこることができました。今後も生協活動に協力すること、フレイル予防に繋がると思っています。



糸賀 俊一



大塚 隆幸

新理事長あいさつ

この度、理事長に就任しました利根中央病院名誉院長の大塚です。少子高齢化と言われて30年以上が経過しました。労働人口減少や後継者不足、そして地域を担う若者が減って孤立世帯も増ええました。2020年1月から始まったコロナ騒動はそれに拍車をかけています。私たち利根保健生協には、各方面と協働しつつ、眼前の困難を乗り越えていく実力と使命があると思えます。組合員の皆様のお力添えを頂いて、一生懸命、地域の発展に尽くしたいと思います。

この総代会をもって5年間の理事長職を退任することになりました。組合員の皆様、理事会の皆様のご協力で無事勤め上げることができ、心から感謝申し上げます。任期中は新病院への移転、利根中央診療所や特養とね虹の里の開設等大きな事業を毎年のように拡大した時期でありました。最後の1年半は現在までコロナ感染症対策に職員、組合員全員が取り組んでいるところですが、今後新しい体制のもとでコロナ感染症を克服し、さらなる利根保健生協の発展をお祈りしています。今後1、2年は一産婦人科医として病院にわずかでも貢献できればと考えています。大変ありがとうございました。

あぜ道

コロナは私たちの日常をいとも簡単に変化させた。私たち医療従事者は患者さんの受け入れに多くのことを確認しなければならず、お互いを守るための感染防護具は絶えず必要となった。▼コロナを持ち込まないために職員の行動も一変した。職場の歓迎会は昨年5月から中止、食事の会話もダメ、旅行なども自粛するようお願いした。職員同士のコミュニケーションは現場を離れて形成される部分もあるが、このような行動制限による影響は大きいと感じる。▼昨年、外来待合いでコロナ相談窓口を開いた。「なるべく外出しないようにしている」「働いているお店にお客さんが来なくなると寂しい」「いつ感染するか不安」という話の合間に「久しぶりに話ができて良かった」と語った患者さんの笑顔を印象的だった。つなぐを求めていた人がいると感じた▼そんななか4月に南部ブロックの「買い物支援」に参加した。参加した組合員さんは最初、「家族からあまり買ってくるな」と言われた。「役員さんに誘われたから」と消極的な雰囲気であった。買い物が始まると会話が始まり、「この魚は焼いた方が美味しい」「このメーカーがいいんだよ」「一口羊羹はどかか」と、お店を行ったり来たりとておもしろい集団と変化して帰る際、一番高齢の方が「初めてスーパーに買い物にきたよ」と嬉しそうに教えてくれた▼コロナ禍に実施した「買い物支援」。人と人が容易に助け合うことができると、生協の役割が大きいと感じた。生協が大切にしてほしい活動をつなぐ、助け合い活動を私も大切にしたい。(利根中央病院事務局長・五十嵐)

新理事会体制

理事33人 監事4人
○印は新任(敬称略)

- 理事長 大塚 隆幸
- 専務理事 原澤 裕
- 常務理事 山田 晃章
- 常勤理事 (五十首順)
- 五十嵐きよみ (病院事務長)
- 小林 淳一 (総務部長)
- 関原 正夫 (病院長)
- 高橋 智憲 (専務補佐)
- 武井 友一 (生協くらしサポートセンター部長)
- 中澤桂一郎 (利根歯科所長)
- 布施 正子 (看護部長)
- 非常勤理事
- 中央ブロック
- 青地 俊則 (沼田東)
- 鈴木 務 (沼田中)
- 田邊 純一 (沼田南)
- 川端 康雄 (沼田北)
- 東部ブロック
- 高山 善市 (池田)
- 千明 利久 (利根北)
- 菅田 一男 (利根南)
- 星野 忠雄 (川場)
- 萩原 日郎 (片品)
- 南部ブロック
- 吉江 高志 (利南)
- 藤井 平一 (白沢)
- 林 幸司 (昭和中)
- 福原 安雄 (昭以南)
- 西部ブロック
- 三ツ井久雄 (沼田西)
- 桑原 俊仁 (薄根)
- 生方 博 (川田)
- 飯塚 眞登 (高山)
- みなかみブロック
- 藤原 京子 (月夜野東)
- 田村 昌弘 (月夜野西)
- 真庭 大策 (水上)
- 林 岩男 (猿ヶ京)
- 河合 京子 (須川)
- 伊勢野 治男 (新巻)
- 監事
- 田中 明
- 伊藤 重雄
- 奈良光 一郎
- 平井百合子

新任役員紹介(出身支部・地域別順)



理事

関原 正夫 (病院長)

武井 友一 (生協くらしサポートセンター部長)

田邊 純一 (沼田南支部)

千明 利久 (利根北支部)

藤井 平一 (白沢支部)

伊藤 重雄

監事

林 幸司 (昭和中支部)

福原 安雄 (昭以南支部)

真庭 大策 (水上支部)

林 岩男 (猿ヶ京支部)

伊勢野 治男 (新巻支部)

平井 百合子



永井酒造 「医療従事者を応援したい」と甘酒の寄贈

6月8日、永井酒造(永井)最前線で従事して下さって則吉社長が利根中央病院を訪れ、「医療従事者の皆様は自身に感染する。感染の媒介者になるかも知れない」という不安の中、コロナ対応の

「医療従事者を応援したい」と甘酒の寄贈

「自身に感染する。感染の媒介者になるかも知れない」という不安の中、コロナ対応の

「医療従事者を応援したい」と甘酒の寄贈

「自身に感染する。感染の媒介者になるかも知れない」という不安の中、コロナ対応の

テクノアカデミーよりコースターの寄贈



6月14日、利根町南郷にある職人育成塾「利根沼田テクノアカデミー」の関真一代表理事、桑原敏彦校長と訓練生らが生協本部を訪れ、コースター1850個を寄贈いただきました。

訓練生の習得技術の披露の場として作品を各方面に寄贈されているとのこと。このコースターはひのきから作成されており、コロナ終息祈願を行ったそうです。手にすると木の香りとぬくもりを感じられる仕上がりになっていました。

「大切に使用してもらいます」と、原澤専務が感謝を伝えました。



病院花壇 色とりどりの花がおでむかえ

6月10日、コロナで密を避け、病院利用委員長の高山善市さんが花植えをしてくださいました。ブルーサルビアやペコニアなど色とりどりのお花が咲き誇っています。「癒しになるね」と、患者様から喜ばれています。

利根小学校で手洗い教室

今年度初回の手洗い教室が6月8日(火)に利根小学校の1年生11人と4年生16人を対象に開催されました。手洗いの重要性について説明を受けた後、バイキンに見立てた蛍光ローションを手につけてから手を洗い、ブラックライトを使用した手洗いチェックカードで汚れの残り具合を確認しました。

特に汚れの残りやすいところについて講師から説明を受けた後、正しい手洗いの方法を「あわあわ手洗いのうた」に合わせて実践し、きれいになったことを再度チェックカードで確認しました。養護の先生から「プロに教えていただく」と説得力があり、その後の手洗いに丁寧さがみられました」と、後日お言葉をいただきました。



フードドライブ活動「おすそわけ」ご協力ありがとうございました

5月29日(土)とね虹の会との共催でフードドライブ活動が行われました。多くの方が来場され食品や日用品など持ち帰られました。コロナ禍の影響で困っている人が多くいる中、今後も利根保健協では、こうした支援のとりくみを続けていこうと思います。

また、群馬テレビ等から取材を受けました。

フードドライブ活動 群馬テレビのニュース映像より



2020年度のまとめと2021年度 活動方針

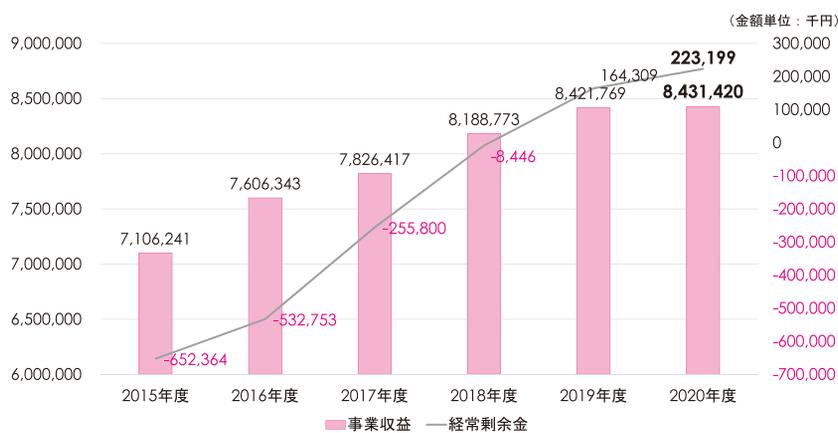
2020年度の位置づけ

- 現「3カ年計画」の仕上げを行う年です。
- 新たな事業展開を含めた、次期「3カ年計画」を策定する年です。
- 新型コロナウイルスや診療報酬改定等への対応が求められる年です。
- SDGsのとりくみをすすめ、「利根保健生協のSDGs宣言」づくりをする年です。

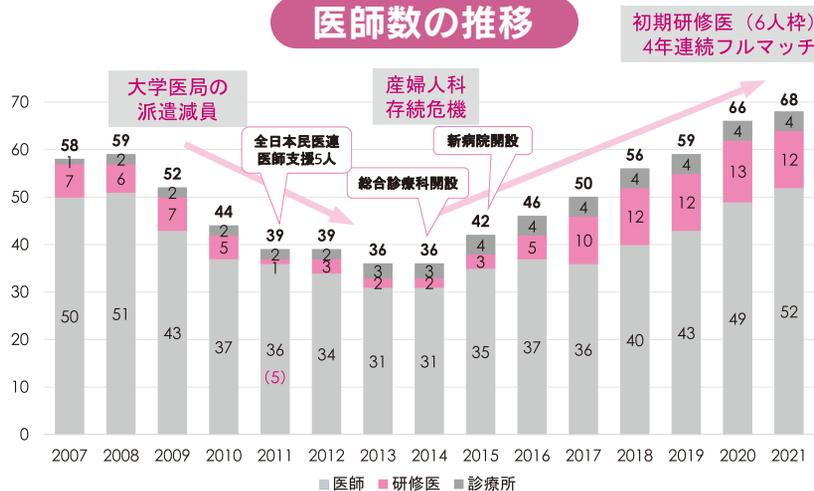
2020年度の位置づけでの評価

- 2018年度からの「3カ年計画の仕上げ」年度であり、次期「3カ年計画づくり」年度でしたが、コロナウイルス感染拡大により「事業と運動」が大きく制約されました。しかし3年間の活動は、行政や地域とのつながりや支部活動の新たな広がり発展し、次の「3カ年計画」づくりへの財産となりました。
- コロナウイルス感染症の収束が見えないことから、次期「3カ年計画」の策定は2021年度の課題となりました。
- SDGsを組合員や多くの方々にお知らせする活動をすすめました。生活相談やフードバンク協力などの実践も始まりました。SDGs宣言づくり、コロナ禍対応とも関連させた実践が課題となっています。
- コロナ禍で病院の一時休診や受診控えで年度当初、事業経営は大きな打撃を受けました。発熱外来や救急医療等「なくてはならない利根中央病院」の実践及びコロナ対策の補助金で計画どおりの剰余を確保できました。

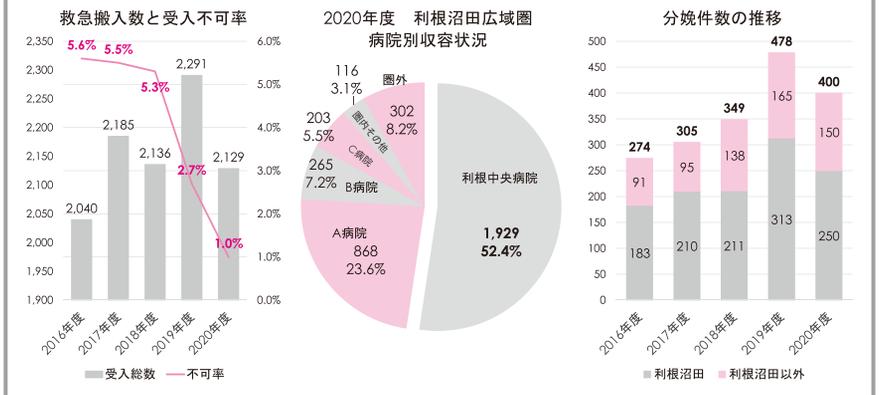
事業収益と経常剰余金の年度推移



医師数の推移



救急搬入と分娩数



2020年度の活動比較

| | 2019年度 | 2020年度 |
|----------------|--------|--------|
| 子ども食堂開催回数 | 11回 | 0回 |
| 大人食堂開催回数 | 2回 | 0回 |
| ブロック別総代会開催数 | 5回 | 0回 |
| 支部総会開催数 | 23回 | 0回 |
| 支部運営委員会開催回数 | 205回 | 183回 |
| 手洗い教室 | 13回 | 3回 |
| まちかど健康チェック開催回数 | 38回 | 14回 |
| 健康チェック総数 | 8,820回 | 1,992回 |
| 地域訪問件数 | 5,408件 | 686件 |
| 班会開催数 | 468回 | 128回 |
| サークル活動開催数 | 1,055回 | 976回 |

くらしの助け合い活動

| | 2019年度 | 2020年度 |
|------|--------|--------|
| 相談件数 | 30件 | 20件 |
| 対応回数 | 13件 | 8件 |

利南 買い物代行

沼田北 窓掃除

沼田北 ブルーシート交換

平和・社会保障活動

国民平和大行進

16 平和と共生をすすめる会

スタンディングで平和をアピール

困窮者支援のとりくみ

いのち・くらしを守る相談会



南部ブロック「スマホ教室」



中央ブロック「買い物支援」

2021年度の重点課題

- ① 新たな介護事業づくりの具体化と、本部周辺の土地活用計画
- ② 医科診療所・歯科診療所の医師体制強化
- ③ 「なんでも相談」のしくみをつくり、助けが必要な方へのアプローチ
- ④ 協同組合間協同や行政・教育機関との連携の強化で、安心してらせるネットワークづくり
- ⑤ 利根保健生協の次代を担う人材確保と幹部育成
- ⑥ 事業の質の向上と連携強化で、2カ年で債務超過を解消

第45回 通常総代会スローガン

1. 「なんでも相談窓口」設置や支部主体の助けあい活動を推進し、地域の暮らしを支援します。
1. 各事業への組合員の関り方を強め、事業の質の向上を通して、地域の安心・安全に貢献します。
1. 子育て世代の要求ともマッチする企画や講座を準備し、多くの世代とつながるしくみづくりにとりくみます。

人材の確保と育成活動

- 地域に愛着をもち、生協活動へ共感し協働できる医師の確保や養成
- 医療講演・懇談会の開催
- 「ふるまい会」に代わる医師と組合員との交流の場



健康づくり活動

- 「健康チャレンジ」や「手洗い教室」で他団体とのつながりを広げる
- 社会参加や身体活動、栄養をテーマに健康寿命の延伸

組合員活動

- 配布者交流会を企画して班とのつながりを強化
- 支部の見せる化の推進、「支部ニュース」の継続発行
- 支部長を中心とした支部運営



平和・社会保障活動

- 「いのち・暮らしを守る相談会」の発展・継続

まちづくり活動

- 「住み続けられるまちづくり」を实践
- 各自治体と地域見守り協定を締結
- 「助け合い活動」を身近なとりくみに
- 相談できる場の拡大で具体的解決



利根中央病院

- 新型コロナワクチン接種プロジェクトを成功させる
- 救急外来の拡充、地域連携の強化、吾妻地域の患者拡大、土曜日の外来診療集約化
- 地域医療を担うため各診療科の専門医を確保

利根中央診療所

- 医師確保をすすめ、各事業所と連携しながら、組合員や地域住民の健康を守る
- 訪問診療は診療単位をふやし、地域でひろく安心の在宅療養を支える

片品診療所

- 地域包括ケアの担い手として、地域住民の要求に答えられるサービスの実現
- かかりやすい診療所を目指し、夕方の診療延長や、整形外科外来、通院支援の拡大をめざす

利根歯科診療所

- 安心・安全・信頼の歯科医療と、納得・満足のいく歯科医療の追求
- 健康寿命延伸のために、オーラルフレイルの予防を広める
- シームレスな事業所間連携で、訪問診療・口腔ケアをさらに充実する

生協みなかみ歯科

- 患者満足度を上げるため、待ち時間・接遇を意識したとりくみを行う
- 「断らない医療」として随時急患受け入れを行い、より質の高い医療の提供を行う
- 感染対策を徹底し、職員・組合員の健康を守るとりくみを行う

とね訪問看護ステーション

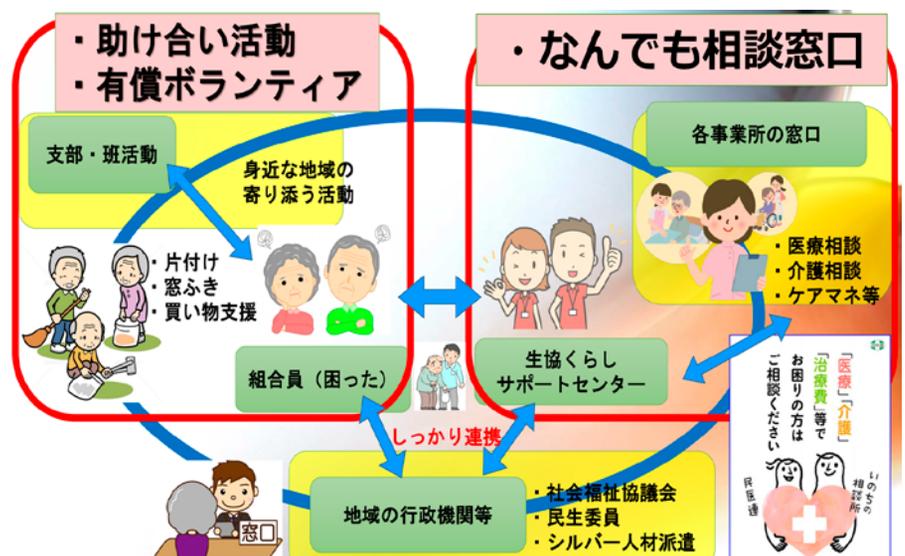
- 「断らない訪問看護」を実践しながら、地域貢献をめざして新たな分野への事業展開の準備をすすめる

居宅介護支援事業所

- ケアマネジメントの拡大を図り、幅広く利用者のニーズに応える

介護老人保健施設とね

- 自立した在宅生活の継続をめざし、他事業所と連携した総合的な支援で家族の介護負担軽減に努める
- 老健とねの入所と短期入所の人数割合を見直し、安定したベッドコントロールを行う
- 介護職員の質や技術の向上のための学習会や研修システムの確立を行う



2021.7月号
医療相談室

げんぱつせいえきかたかんしょう 原発性腋窩多汗症



利根中央病院
皮膚科医師

永井 弥生

わきの下の汗、悩んでいませんか？
新しい薬があります！

汗は気になっても 仕方がない？

汗ばむことが多い季節になりました。ワキ汗が服にしみて気になるという方も多いのではないのでしょうか。

原発性腋窩多汗症とは？

病院で治療するものではないと思っている方がほとんどではないのでしょうか。

困るわき汗ですが、「原発性腋窩多汗症」というのが正式な病名です。汗の量が多くなる原因となる病気や障害がないにもかかわらず、多量のわき汗に悩まされる状態です。

原発性腋窩多汗症の診断基準（2項目以上あてはまること）

- 最初の症状がでるのが25歳以下であること
- 左右両方で同じように発汗がみられること
- 睡眠中は発汗が止まっていること

原発性腋窩多汗症の重症度

- 1週間に1回以上多汗の症状がでること
- 家族にも同じ疾患の患者さんがいること
- わき汗によって日常生活に支障をきたすこと

重症度評価尺度（HDSS）

① 発汗は全く気にならず、日常生活に全く支障がない
② 発汗は我慢できるが、日常生活に時々支障がある
③ 発汗はほとんど我慢できず、日常生活に頻繁に支障がある
④ 発汗は我慢できず、日常生活に常に支障がある
⑤ ④は重症と判断されます

支部活動紹介

薄根支部



当支部は沼田の西部にあり準農村地域です。生協の組合員は、1,840人余の組織で3番目に大きな支部です。役員は、理事、支部長、副支部長3人、運営委員9人、班長82人（機関紙配布）の体制です。まだ活動の担い手が足りません。

組織活動四課題の取り組みでは、①地域の組合員の要望を聞きながら地域訪問の統一行動を数年前から行い増資に取り組みました。②組合員ふやしは4年間で200余人が増加し目標を達成しています。③健康チェック活動は地域の行事で薄根公民館祭りに、支部として参加し毎年50人程実施をして大変喜ばれています。

昨年はコロナ禍で中止になりましたが独自に地域の直売所を借り、屋外で健康チェックを行いました。④班会は数力所定期的に行っていました。サークル活動も活発でしたが今は共に中断しています。色々の課題が有りますが安心して住み続ける地域になるよう頑張ります。

※撮影の高マスクを外しています。
写真は都合により運営委員10人+リハビリ室職員

これまでの主な治療法

病院を受診される方が少ないのは、良い治療がなかったということも大きな理由です。

塩化アルミニウム液という塗り薬はありましたが、なかなか十分な効果が得られませんでした。また、A型ボツリヌス毒素の注射、交感神経をブロックする手術などの方法もありますが、そこまでは希望しない、手術の後遺症が出るなどの問題もありました。

オススメの新しい塗り薬 エクロック®ゲル5%

そんな悩ましい、わきの下の汗ですが、昨年に発売された新しい塗り薬が使えるようになりました。



汗は皮膚にあるエクリン汗腺という汗を出す腺から分泌されます。この塗り薬は、汗を分泌させる交感神経をブロックすることで、汗腺からの汗の分泌を抑え、わきの下の汗が全気にならなくなった、と喜びの声をいただいています。

注意するポイント

わきの下に塗るだけなので、重大な副作用はあまりありません。

③ 発売前の試験では、80%の方で汗が抑えられ、60%の方で日常生活に支障がなくなるほどに症状が改善したそうです。実際に薬を使った患者さんから、わきの汗が全気にならなくなった、と喜びの声をいただいています。

他の部位には使えません

手足の多汗で悩まれる方も多いでしょう。残念ながら、この薬はわきの下以外の部位には使うことができません。これまでの治療で対応していくこととなります。

治療は日々進歩しています。また新しい情報があればお伝えしていきます。

わき汗が気になる方、気軽に受診してみてください。

出版しました！

医療者と患者さんをつなぐために

これからの医療
5つの「患者力」があなたと医療を守る！

著者 永井 弥生

「ドクター永井の皮膚科」
YouTubeでも解説しています。

これからの医療
5つの「患者力」があなたと医療を守る！

永井 弥生 著
(こま書房新社)

進む高齢化、新型コロナウイルスで大きく変化した社会と医療。一人ひとりが医療への関わり方を考えるべき時代です。自分のために賢く医療を利用しましょう。

ぜひご覧ください。

*病院の売店でも購入できます。

お口の健康「ロングピロピロ棒」「長息生活」



ロングピロピロ棒
700円 (税込)

マスク生活でお口が知らずにあいてませんか?
鼻呼吸が普通に出来ることでお口の健康にもつながります。
全国の医療生協でもフレイル予防としてロングピロピロ棒が大人気!
腹式呼吸をつづけることで、エクササイズの効果と口輪筋を鍛え、小顔効果になると美容として始める方も続出しています。

ご希望の方は 生協本部 生協くらしサポートセンターまで
☎ 22-2300

「長息生活」レベル3 販売のお知らせ 利根歯科診療所

今回追加された
長息生活
レベル3



利根歯科診療所でも、オーラルフレイル予防として吹き戻しトレーニング商品「長息生活」を取り扱っています。

これまでレベル0(白)、レベル1(ピンク)、レベル2(ブルー)を呼気力に併せて取り扱ってましたが、今回、さらに呼気力を高めるレベル3(緑)を追加販売致します。

長息生活の販売は、利根歯科診療所のみとなっております。

是非、この機会にお口のメンテナンスも含め、お口の健康にご活用はいかかでしょうか?

長息生活 各種 レベル0～2まで…1本 330円(税込) レベル3…1本 380円(税込)
レベル0・1・2…3本セット 968円(税込)

お求めお問い合わせ先 利根歯科診療所まで ☎ 24-9418

利根中央病院からのお知らせ

64歳以下の方の新型コロナワクチン個別接種の予約を受付しています。

- 当院では年齢関係なく接種券(クーポン券)をお持ちの方へワクチン接種を実施しております。
- **クーポン券をお持ちの方**は予約を受け付けておりますので申し込みください。
- ホームページ予約、窓口予約を受付しています。電話予約は出来ません。



【予約時に必要な物】 ■ご予約の際は、市町村から交付された「**クーポン券**」、「**診察券**」、「**保険証**」をご用意ください。

利根中央病院 自費診療での新型コロナウイルスPCR検査の案内 完全予約制



お申込み方法

希望日の前日 16:00(土曜日:12:30、日曜・祝日を除く)までに下記へお申し込みください。

電話予約センター TEL: 25-3489

平日 8:30 ~ 13:00、14:00 ~ 16:00(土日祝日・年末年始除く)

*注意事項は、利根中央病院ホームページで確認してください。

検査方法・費用

● 検査方法: PCR 検査法 鼻咽頭ぬぐい液

● **一般料金: 18,700円(税込) 組合員料金: 13,860円(税込)**

● 検査報告書

- ・PCR 検査翌日以降、総合受付文書窓口でお渡しします。(保管期間 1 カ月)
- ・検査結果が陽性の場合、保健所へ報告します。保健所からの指示に従ってください。

2021 国民平和大行進は 7/8 宣伝車でアピール

新型コロナウイルスの感染拡大予防のため歩きによる大行進は行いません。
核兵器廃絶や平和への願いを込めて、宣伝車でアピール行動となります。

第40回平和のための戦争展は中止

「いい歯の日」作品コンクール

11月8日は「いい歯の日」です。組合員の皆さまと歯と口の健康について考える企画として本年も「いい歯の日」作品コンクールを実施します。歯みがきの大切さや、お口とからだ全体の健康を健康な歯による人生の楽しさ、家族愛が感じられる微笑ましい作品など、オリジナリティあふれる作品をお待ちしています。

参加賞含め素敵な景品を用意していますので、奮ってご応募ください。



応募資格…組合員全世代

募集要項…作品のテーマは「歯や口に関すること」としますが、絵、彫刻、標語、川柳、etc など内容は問いません。歯に関する事に自由に表現してください。

応募締切日…9月末日

応募・問い合わせ先

利根歯科診療所 組織委員会 いい歯の日コンクール係
〒378-0056 沼田市高橋場町 2002-1 TEL: 24-9418

作品募集

今月は36件のご応募ありがとうございました。紙面スペースと当季雑誌に沿って掲載させていただきます。また、楷書でわかりやすく丁寧に書いてください。
〒三七八〇〇五三 沼田市東原新町一八六一の一
利根保健生協「なかまの作品係」
メール投稿 sukusuku-tone@tonehoken.or.jp

6月号掲載された短歌に誤りがありました。訂正させていただきます。
訂正
枝低く帽子取られつつ草を刈る梅熟る日の
近づきし午後 昭和村入原 板橋 きみ江
夜なべとはどんな鍋かと孫が聞く死語となりたり
夜なべを知らぬ みなかみ町月夜野林 いくじ

変異ウイルス各地に広がるニュース聞き北毛に住めど不安なる日々 沼田市堀廻町 今井 栄一
一万歩二日続けし自画自賛 武田 正
岳の残雪仰いで歩く みなかみ町鹿野沢

九十を生きまだころびおり青嵐 沼市高橋場町 生方 辺秋
ワクチンを目指して並ぶ炎天下 沼市桜町 名胡桃重光
水芭蕉の木道あらた清し風 沼市横塚町 星野 順子
飛行雲追いかけてこ姑帰路につく 沼市久原町 狩野 章子
花野には花野の匂ふ風生れ 沼市磯田町 阿部 まつ
暗闇で乱舞飛び交う恋堂 沼市磯田町 高橋 理房
梅雨しとど廢屋の軒猫走る 川場村生品 乗原あや子
郭公に招かれて森のおく 川場村各地 穴沢 杏子

なかまの作品

俳句

